

川の声

肝属川情報紙第 41 号

平成 21 年 3 月発行

国土交通省大隅河川国道事務所

TEL.0994-65-2541

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

出前講座に参加して一緒に肝属川のことを学ぼう!

講座名	講座の内容
肝属川の河川整備について	肝属川の水門・樋管・護岸などの河川整備について紹介
肝属川の治水・利水・環境	肝属川の治水・利水・環境など生活との関わりについて紹介
肝属川の水質・水生生物調査	肝属川の水質調査や魚などの水生生物調査を現地で実施

平成10年度から実施。平成19年度(昨年度)までに合計で118講座、延べ人数にして約5,500の方が受講しました。

左のような内容を中心に肝属川に関する話や調査をするため、いつでも学校、公民館、地域団体などへ出前講座に伺いますので、気軽に依頼して下さい。

依頼料は無料です。子ども達の総合学習や育成の場としてご活用下さい。

出前講座の様子

◆現場で水質調査や水生生物調査なども体験出来るよ(〇〇)◆



肝属川のことについての講義をしている様子



肝属川で水生生物調査をしている様子



肝属川で水質調査をしている様子

平成20年度の講座回数は13回、延べ約680名の方々が受講!



出前講座のお申し込み・お問い合わせはこちらまで

大隅河川国道事務所 広報室

TEL 0994-65-2541

FAX 0994-65-7033

流域のみなさん、知っていますか？清流ルネッサンスIIのことを...

○清流ルネッサンスIIとは？

清流ルネッサンスIIとは、地域の住民と自治体などが協力しあって、昔のきれいな川をもう一度取り戻そうという取り組みのことです。

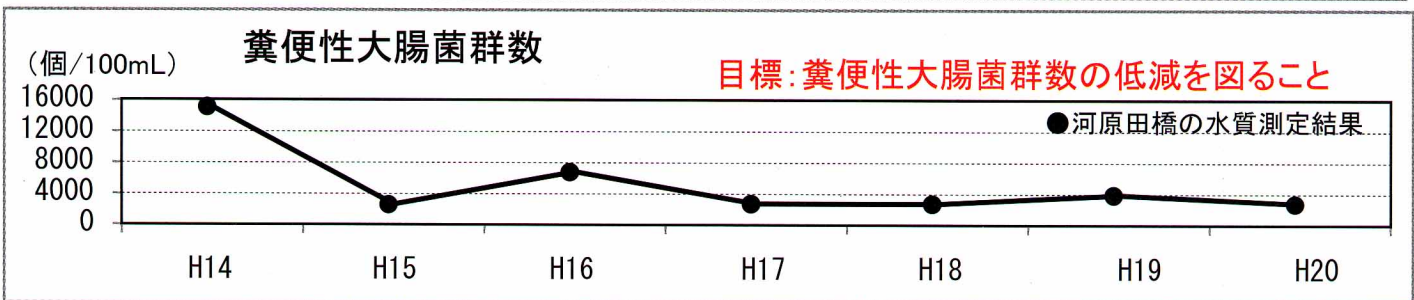
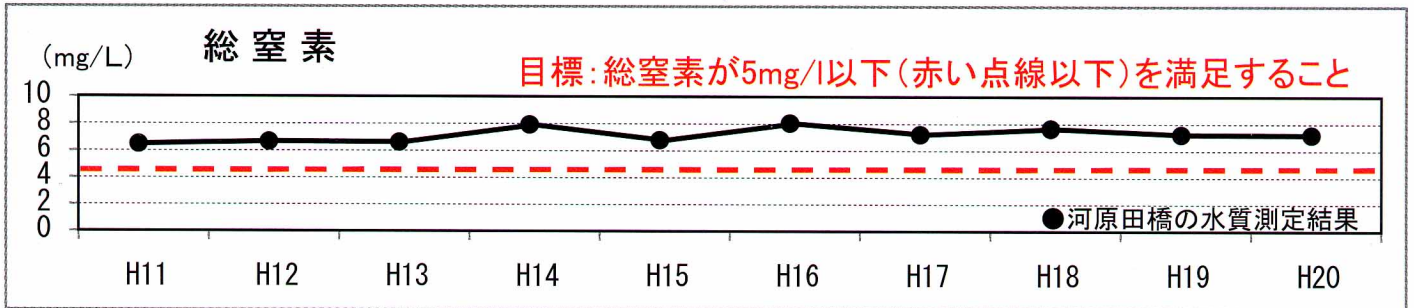
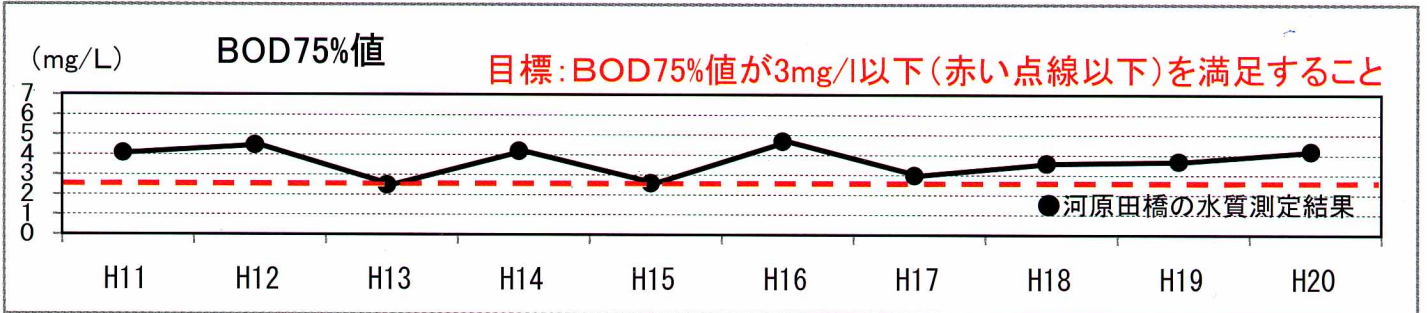
肝属川では、地域の住民、鹿屋市、鹿児島県、国土交通省などが役割分担し、肝属川をきれいにするための行動計画を平成17年3月に作成し、水環境の改善対策を実施しています。

肝属川清流ルネッサンスIIの行動計画では2015年（平成27年度）を最終目標年度としています。



○目標とする水質

目標の水質になるように評価(判定)する地点は河原田橋(上の図)です。



BOD(生物化学的酸素要求量)

川の水の汚れの程度を示す値
(値が高いほど水は汚れている)

75%値

月1回の測定で1年で12個の値があった場合、数字の小さい方から順に並べて上から9番目になる値

総窒素

化学肥料に含まれるリン・カリウムと並ぶ三大栄養素の一つ。窒素は、植物の成長に欠かせないものであるが、多すぎると富栄養化の原因となって藻の異常発生や生物の異常死などの有害を引き起こす

糞便性大腸菌群数

大腸菌の中で44.5℃の温度でも生育する細菌で、名前のとおり糞便に由来する大腸菌

★私たちにできること★

1. 下水道への接続

県の補助のもと市が主体となって整備を推進しますので、整備完了区域では、下水道に接続しましょう。

2. 合併浄化槽の普及、維持管理

下水道整備区域外においては、市の補助制度を利用し、合併浄化槽を設置しましょう。また、現在設置されている方は適正な維持管理に努めましょう。

3. 事業場排水基準の遵守

事業場の方は排水基準を遵守しましょう。

4. 環境保全型農業の推進（施肥対策）

農業者の方は有機肥料の利用や適正施肥の遵守を推進しましょう。

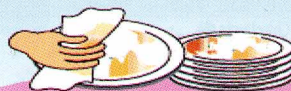
5. 環境保全型畜産の推進（家畜排せつ物対策）

畜産業者の方は畜産排せつ物を処理施設に持っていくなど適正な処理をしましょう。

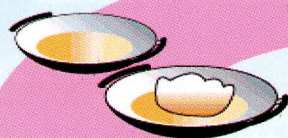
6. 家庭排水から出る汚れの削減

積極的に下記の絵のような取り組みをしていきましょう。

使えなくなった油は流し台に流さないようにする

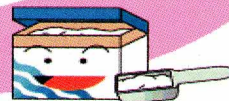


油や食べ物で汚れた鍋や食器は紙などで拭きとって洗う



流し台の三角コーナーに水切りネット等を取りつける

生ゴミは肥料にする



洗濯には無リン洗剤を使う

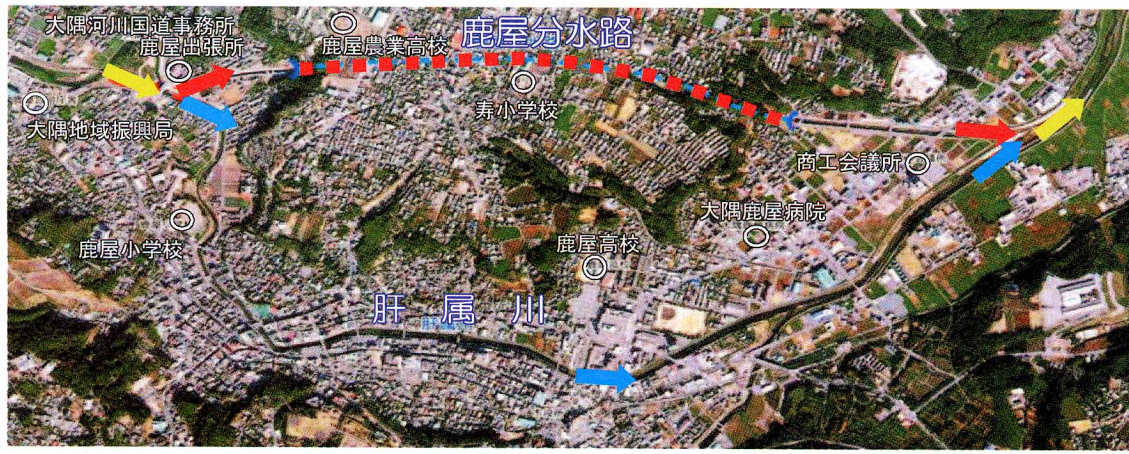
肝属川構造物紹介シリーズ第1弾 「鹿屋分水路」

○鹿屋分水路ってなに？

例えば、雨が降って1つの川では流せない水量が、鹿屋市街地を流れる肝属川にやってきた場合、当然、川はあふれ、家が浸水したり、倒壊するなどの被害が起こりますよね。しかし、1つの川ではあふれる量でも2つの川に分けて流せば、問題は無くなります。鹿屋分水路とは簡単に言えば「2つ目にあたる川」のことで全長約2.7km（1部トンネル）の人工的に造られた川のことです。

○鹿屋分水路の経緯

鹿屋市の中心部を流れる肝属川は川幅は狭く、川沿いには多くの家屋が密集し、鹿屋分水路が出来るまでは幾度となく、水害に悩まされてきました。そして、昭和51年6月の『梅雨前線による出水』で鹿屋市街地は大被害を受け、この出水をきっかけに鹿屋分水路建設事業がスタート！平成12年3月に完成しました。鹿屋分水路が完成してからは、その効果を大きく発揮し、今日まで鹿屋市民の人命と財産を洪水から守り続けています。



昭和51年6月梅雨で発生した災害写真



鹿屋市朝日町地先



鹿屋市田崎地区地先

肝属川の水質 お近くの川の汚れ具合です

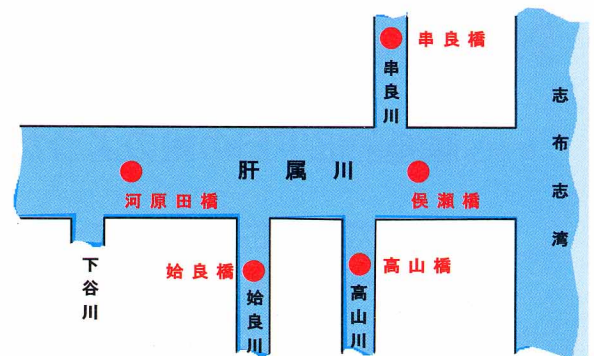
BOD（生物化学的酸素要求量）：川の水の汚れの程度を示す値が高いほど水は汚れている

水質状況（BOD値）

市・町	調査地点	1月	2月
鹿屋市	河原田橋	5.0	5.9
鹿屋市吾平町	始良橋	1.0	1.0
肝付町	新前田橋	0.8	1.2
鹿屋市串良町・東串良町	串良橋	1.8	2.3
全箇所合流後	俣瀬橋	2.3	1.9

数値の目安

- 1以下：人為的汚染のない川
- 2以下：泳げる。サガニ、ツバメの生息
- 3以下：アユの生息
- 5以下：コイ、ワケの生息
- 5以上：オミズ、マダヒルコの生息



あとかき

今年は比較的温暖であった冬も終わり、もうすぐ桜の咲く季節がやってきますね。多くの皆さんもお花見に出かけられることでしょう。

さて、この『川の声』ですが、平成10年3月に第1号を発行し、今年の3月で11年を迎えました。これからも皆さまに肝属川の情報を届けるために「川の声」を続けて行きたいと思っております。それでは来年度11年目に突入する『川の声第42号』でお会いしましょう！

*肝属川に関する意見、質問、何でも…
〒893-1207 肝属郡肝付町新富1013-1
大隅河川国道事務所 調査第一課（橋口）
tel:0994-65-2993（直通）
fax:0994-65-9630
<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>
e-mail: osumi@qsr.mlit.go.jp